

指定管理者候補者の選定結果について

環境部 廃棄物政策課

環境部廃棄物政策課所管の新潟市ふれあい健康センターについて、平成25年8月7日より指定管理者を公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	新潟市ふれあい健康センター
所在地	新潟市西区笠木3629番地1
施設の概要	新潟市ふれあい健康センターは、市民の健康増進とリサイクル意識の向上に資することを目的として平成12年7月に設置された施設である。施設は、室内流水プール、気泡・噴流プール、屋外ジャグジー、浴室、レストラン等を有しており、飲食提供・物販業務、利用者送迎業務、健康教室開催業務などを実施している。
指定管理者 申請者 評価会議	篠田 邦彦 委員 (国立大学法人 新潟大学教育学部 教授) 中山 幸夫 委員 (日本公認会計士協会東京会新潟県会 中山公認会計士事務所) 佐藤 孝一 委員 (一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンター 統括部長) 上野 アイ子 委員 (新潟市消費者協会新潟支部 理事)
指定管理者 (候補者)	福田道路・オーエンスグループ 代表者 代表企業 福田道路株式会社 代表取締役社長 河江 芳久 住 所 新潟市中央区川岸町1丁目53番地1
指定期間 (予定)	平成26年4月1日～平成31年3月31日
選定理由	指定管理者候補者の選定にあたっては、応募が1団体であったため、新潟市ふれあい健康センター指定管理者申請者評価会議において、上記応募者から提出を受けた事業計画書等の資料をもとに、事業計画、事業提案、収支計画等について選定基準に基づき評価を行った。 その後、評価会議における評価結果を参考に検討した結果、上記応募者は、これまでの実績に基づく安定感、魅力あるサービスの提供提案や人材育成への取組など、指定管理者としての業務遂行能力を有するとして指定管理者候補者に選定することとした。なお、候補者選定の参考とした評価会議における評価結果は別表のとおりである。
スケジュール	第1回評価会議 7月10日 ※仕様書・選定基準・目標管理型評価項目の決定 募集要項等配布 7月26日～8月5日 公募説明会 8月7日 質問受付 8月7日～8月12日 応募受付 8月7日～9月17日 第2回評価会議 10月17日 今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。
所管部署 (問い合わせ先)	環境部廃棄物政策課管理係 TEL: 025-226-1387 (直通) E-mail: haisei@city.niigata.lg.jp

【参考】現指定管理期間の評価（平成21年4月～平成26年3月）

指定管理者	福田道路・オーエンスグループ
総評	比較的良好な施設サービスを提供している。施設管理、衛生管理、安全管理など、求められる水準を満たしており、利用者満足度も良好である。大きなトラブルもなく管理運営を行っており、指定管理者として良好と評価する。

別表（評価結果）

選定基準	評価項目	配点	候補者
法人等の評価	申請者の実績	15点	12.8
	組織・人員体制	10点	7.5
	申請者の安定性・信頼性	10点	9.0
	個人情報の管理	5点	3.8
施設管理・事業の評価	利用者に対するサービスの向上	15点	11.3
	利用促進・利用増への取組	10点	6.0
	魅力の創造と満足度の向上	15点	10.5
	衛生管理	20点	14.0
	設備の維持管理	20点	14.0
	安全管理・事故防止	10点	7.0
管理経費の評価	料金の設定と考え方	20点	14.0
	指定管理料についての考え方	20点	13.0
	適切な費用見積	10点	6.5
合計		180点	129.3

※点数は、評価会議の委員4名の平均

新潟市ふれあい健康センター指定管理者事業計画

環境部 廃棄物政策課

項目	福田道路・オーエングループ（選定者）																																																									
1. 申請者の実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度より本施設の運営管理を開始。平成24年度には利用者数が開館以来初めて26万人を超えるなど着実に利用者数が増加 代表企業の福田道路㈱は、新潟市内に本社を構える地元企業として地域との多様な連携を推進 構成企業の㈱オーエンスは、温浴・スポーツ施設やコミュニティ施設など幅広いジャンルの施設で49件139施設の指定管理者実績 																																																									
2. 組織・人員体制	<ul style="list-style-type: none"> 現在本業務に従事している経験者、有資格者を継続的に配置 新たに職員を採用する場合は、市民を優先雇用 経験に基づき、通常期、繁忙期に応じた利用者予測による適正な人員配置を実施 スキルミックスの活用により、業務を相互に補完 業務開始前、開始後の職員研修制度、育成プログラムを整備 保守点検等、一部の業務について、市内の実績ある企業への再委託 																																																									
3. 申請者の安定性・信頼性	代表企業：福田道路株式会社 設立：昭和45年11月2日 代表者：代表取締役社長 河江 芳久 資本金：20億円 従業員数：402名 売上高：301.8億円（平成24年度1月～12月） 主たる事業：建設工事の請負、企画、設計、監理及びコンサルティング業務	構成企業：株式会社オーエンス 設立：昭和34年6月1日 代表者：代表取締役 大木 一雄 資本金：1億円 従業員数：1,304名 売上高：143.0億円（平成24年4月～平成25年3月） 主たる事業：ビル総合管理業、PPP事業、スポーツ・文化施設管理事業																																																								
4. 個人情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法、新潟市個人情報保護条例、新潟市個人情報保護条例施行規則等の関係法令の遵守 ソーシャルメディアポリシーの作成、運用 個人情報保護の取扱いに関するマニュアルの整備と職員に対する個人情報保護研修、コンプライアンス研修の実施 新潟市情報公開条例、新潟市情報公開条例施行規則等に基づき市民の知る権利を保障 ホームページ等を活用した積極的な情報開示 																																																									
5. 利用者に対するサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望・意見をヒアリングやアンケート等により積極的に収集 PDCAサイクルに基づく継続的な改善により利用者満足度を向上 利用者の要望等の反映・改善結果の見える化とセルフモニタリングや第三者モニタリングの実施 苦情・トラブル対応体制の構築、苦情トラブル対応マニュアル、苦情トラブル対応シートの活用 																																																									
6. 利用促進・利用増への取組	<ul style="list-style-type: none"> 利用者増加に向けた最適なプロモーション方法の採用 ホームページ、テレビコマーシャル、チラシ、施設だより等により施設情報を広く発信 本施設オリジナルマスコット、アクパくんを活用した広報展開 季節に応じた多様なイベントの実施による閑散期の利用増 																																																									
7. 魅力の創造と満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> レストランは利用しやすい料金設定と子どもから大人まで楽しめる魅力的なメニューを展開、積極的な新メニューの提供による活性化 カフェラウンジは、地元の福祉関連会社に委託し、障がい者の社会参加の場を創出 健康教室としてエクササイズスタジオ、流水プールを活用した各種健康増進プログラムの開催 健康教室は、気軽に参加できる単発的なプログラムのほか、8回連続参加のプログラムも開催し、継続的な参加を促進 健康教室のプログラムは、利用者の要望を取り入れ、適宜プログラムの入替を実施 多世代交流や施設のにぎわいを創出するイベントとしてビンゴ大会などの開催、子どもを対象としたものづくり教室の開催 2階ロビーのリニューアルにより、より多くの利用者が快適に過ごせるスペースを確保 ノーマライゼーションの考え方に基づき、ハンディキャップのある方の利用を促進 																																																									
8. 衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理マネジメントにより、衛生的かつ快適な環境を維持 新潟市プール条例、新潟市プール条例施行規則、遊泳用プールの衛生基準について、公衆浴場法、新潟市公衆浴場法施行条例等を遵守し、日常・定期的衛生管理を徹底 安全衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、レジオネラ症防止対策マニュアルの整備 関係法令を遵守し、水質管理を徹底、水質検査結果の公表とレジオネラ属菌対策の徹底 レストランでは、安全衛生管理マニュアルを整備し、職員の衛生管理から、食品、調理器具・機器の衛生管理を徹底 清掃品質評価（インスペクション制度）の実施 																																																									
9. 設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 2社がともに有するISO9001、14001認証により、高品質な施設管理を実施 長期修繕計画を策定し、施設の長寿命化を実現するとともに、日常の小規模修繕の実施により、大規模修繕を抑制 特殊な施設設備に習熟した設備員を配置 																																																									
10. 安全管理・事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態発生に備え、救助体制や連絡体制、応援体制等の緊急対応策を構築 危機管理マニュアルの整備と応急措置法、心肺蘇生法、AED研修等の実施、館内ハザードマップの作成 事故等が発生した際には、対応フローに基づき被害者の救護を最優先に対応 プール監視は、日赤水上安全法救助員や救急法救急員等の有資格者の配置によるプールの安全管理 プールの安全標準指針に基づき、点検チェックシートを作成、活用 バリアフリーに配慮した施設内の点検・整備を実施 職員の巡回や「準備」「点検」「教育」「実施」を通じた防犯対策を実施することにより施設全体の予防安全を強化 																																																									
11. 料金の設定と考え方	<ul style="list-style-type: none"> 現行の一般入館料及び会員料金設定の継続 レストラン飲食代は、これまでの500円以下のメニューに加え、多様なニーズに対応した豊富なメニューを提供 多様な回数券の発行と法人利用料金制度の新設 新たな顧客層の獲得と収益性の向上を図るため、今後も一般入館者の利用促進に注力 																																																									
12. 指定管理料についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> 適正人員配置、省エネルギー推進、事務経費省コスト化、業務見直しと継続的な改善を基本に、実績とノウハウを活用し経費を縮減 これまでの実績に基づく積算により、5年間の安定した質の高いサービスを提供 毎年の利用者増加と収入の増加を図ることで、指定管理料の軽減に寄与 リスク発生時には、リスク分担表に基づく迅速な対応を実施（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館収入</td> <td>63,272</td> <td>63,558</td> <td>64,039</td> <td>64,412</td> <td>64,705</td> <td>319,986</td> </tr> <tr> <td>施設利用収入</td> <td>48,010</td> <td>48,010</td> <td>48,010</td> <td>48,010</td> <td>48,010</td> <td>240,050</td> </tr> <tr> <td>収入合計（A）</td> <td>111,282</td> <td>111,568</td> <td>112,049</td> <td>112,422</td> <td>112,715</td> <td>560,036</td> </tr> <tr> <td>仕入経費</td> <td>18,930</td> <td>18,930</td> <td>18,930</td> <td>18,930</td> <td>18,930</td> <td>94,650</td> </tr> <tr> <td>運営経費</td> <td>159,229</td> <td>156,334</td> <td>156,669</td> <td>157,329</td> <td>158,304</td> <td>787,865</td> </tr> <tr> <td>支出合計（B）</td> <td>178,159</td> <td>175,264</td> <td>175,599</td> <td>176,259</td> <td>177,234</td> <td>882,515</td> </tr> <tr> <td>収支差引（指定管理料提案額）</td> <td>66,877</td> <td>63,696</td> <td>63,550</td> <td>63,837</td> <td>64,519</td> <td>322,479</td> </tr> </tbody> </table>		区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計	入館収入	63,272	63,558	64,039	64,412	64,705	319,986	施設利用収入	48,010	48,010	48,010	48,010	48,010	240,050	収入合計（A）	111,282	111,568	112,049	112,422	112,715	560,036	仕入経費	18,930	18,930	18,930	18,930	18,930	94,650	運営経費	159,229	156,334	156,669	157,329	158,304	787,865	支出合計（B）	178,159	175,264	175,599	176,259	177,234	882,515	収支差引（指定管理料提案額）	66,877	63,696	63,550	63,837	64,519	322,479
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計																																																				
入館収入	63,272	63,558	64,039	64,412	64,705	319,986																																																				
施設利用収入	48,010	48,010	48,010	48,010	48,010	240,050																																																				
収入合計（A）	111,282	111,568	112,049	112,422	112,715	560,036																																																				
仕入経費	18,930	18,930	18,930	18,930	18,930	94,650																																																				
運営経費	159,229	156,334	156,669	157,329	158,304	787,865																																																				
支出合計（B）	178,159	175,264	175,599	176,259	177,234	882,515																																																				
収支差引（指定管理料提案額）	66,877	63,696	63,550	63,837	64,519	322,479																																																				
13. 適切な費用見積	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営実績からの分析と再委託業者との綿密な協議に基づいた費用積算 適正な人員配置の構築による人件費見積 責任度合と専門性に応じた給与設定 キャリア・実績に応じた昇給・手当の支給 資格取得支援やスキル向上研修費用を確保 安全で良好な施設環境を確保する維持費見積 																																																									